

平成30年度 第1回環境水理部会 議事録

日時： 平成30年11月26日(月) 12:15~13:00
場所： 北海道大学札幌キャンパス・学術交流会館第6会議室(第63回水工学講演会)
参加者：**部会長**：矢島(島根大) | **副部会長**：矢野(九州大) | **幹事**：田代(名古屋大)，大槻(土研・共生C) | **委員**：赤松(山口大)，石塚(香川大)，梅田(東北大)，大石(寒地土研)，大橋(日本工営)，川村(寒地土研)，工藤(いであ)，齋田(鹿児島大)，櫻井(ダム技術C)，重枝(九工大)，新谷(首都大)，鈴木(電中研)，鈴木(八千代エンジニアリング)，田井(九州大)，竹林(京都大)，都築(リバフロ)，鶴田(建設技研)，鶴田(土研)，中山(神戸大)，中山(国環研)，長尾(産総研)，細川(港空研)，湯浅(パシコン)，横山(首都大)，吉川(北見工大) | **オブザーバー**：赤堀(愛知工大)，井上(港空研)，井芹(中国温州大)，乾(山口大)，今村(電中研)，入江(大阪大)，大久保(滋賀県立大)，太田(電源開発)，片岡(東京理大)，小林(京都大)，清水(日本工営)，角(京都大)，土屋(中央大)，中西(土研)，二瓶(東京理大)，東(国環研)，牧野(東北大)，宮本(芝浦工大)，山原(中電技術コ) (出席者下線，計30名。敬称略。)

1. 報告事項

① 水工学委員会報告(矢島部会長)：

- ・次期水工学委員長が群馬大学の清水義彦教授に決定した。
- ・水工学委員会を通じて、今年度中に10万円ほど使用できる予算がある。
- ・次期水工学講演会は、2019年11月4-6日、大宮ソニックシティにおいて開催予定。

② 平成30年度環境水理部会研究集会の開催報告

- ・研究集会幹事の吉川委員(北見工大)より、別紙資料に基づいて開催報告ならびに会計報告がなされた。

③ 水シンポジウムについての開催報告(矢島部会長)：

- ・別紙資料に基づき8月23-24日に開催された水シンポジウムについて報告された。

④ 研究ワーキンググループの報告：

- ・閉鎖性水域WG(矢島部会長)：4月4日にシンポジウムを開催。Jorg Imberger先生をお招きし、ディスカッションを実施。参加者35名であり、オーストラリア大使もゲストで参加した。
- ・温暖化適応WG(矢野副部会長)：昨年度に引き続き環境省推進費に応募した。来年度に向けては、主査交代やメンバー変更を経て、活動を第二フェーズへ展開することを審議する。
- ・動的総合土砂管理WG(竹林主査)：本年度は特に活動を行っていない。福岡先生から植生管理についての研究を推し進めるべしとのコメントもあり、そういった活動展開も含め

て検討中。

・教科書英文化 WG (矢野副部長) : 英訳を進めている。現在第 5 章を発注済みであり、第 6 章が終われば完了となる。その段階で、各章の執筆主査に確認を依頼する。その際には図面の著作権の確認が今一度必要になる。完成品は環境水理部会 HP 等にアップロードし誰でも使えるようにする。

2. 審議事項

① 次期副部長の選出について :

・矢野副部長より、次期副部長の選出について、事前の呼びかけにより、竹林委員 (京都大) が他薦されたことが報告された。審議の結果、竹林委員を次期副部長とすることが承認された。

② 2019 年度環境水理部会研究集会 :

・梅田委員 (東北大) から、別紙資料に基づき 2019 年度の研究集会企画案が示された。審議の結果、6 月 20-21 日を第一候補に、青森県岩木川流域を開催地として具体的に検討することが承認された。今後梅田委員を研究集会幹事として検討を進め、内容はメーリングリストで周知する。関連する意見として、22 日についてもオプションツアーを行うことを別途検討してはどうか、などが挙げられた。

※海洋開発シンポジウムについては、7 月 1-3 日に北九州市にて開催予定とのこと。

3. その他

・矢島部長より、オープンジャーナル「Water」についての案内があった。

・矢野副部長より、中国・温州大学所属の井芹委員をアテンドとした中国へのテクニカルツアーについて検討していることが述べられた。

・矢野副部長より、次年度に向けて若手メンバーを中心に新規 WG の立ち上げを検討して欲しいとの依頼があった。

・年次講演会での部会開催を行わないこととしたため現状では年 1 回の部会開催となっている。年複数回開催するため、研究集会と同じ日に部会を開会することを検討することとなった。

以上